

新ルールを取り入れてスピーディーなプレーを!

2019年1月1日よりゴルフルールが大幅に改正されます。その中の代表例を以下にご紹介します。当コースでは2018年より新ルールでのプレーを推奨しております。

オススメ
新ルール

準備ができた人から打つ (Ready Golf)



現規則

ホールから遠い人から先に打つ

新規則

他のプレーヤーに危険が及ばない場合に限って、準備ができた人からショットすることが認められる。
(飛ばない人からティショットしましょう。)

オススメ
新ルール

ホールに立っている旗竿に当たっても罰はありません。

現規則

パッティンググリーン上からストロークした球がホールに立てられて旗竿に当たった場合は2罰打となります。

新規則

もはや旗竿に球が当たっても罰はありません。旗竿をホールから取り除かずにはパットをすることができます。
(ロングパットはキャディーに抜かせないで打ちましょう。)



オススメ
新ルール

合計で2罰打を払えば、バンカーの外にドロップできます。
(アンプレアブルの処置)

現規則

バンカー内の球に対してアンプレアブルの処罰をとる場合、最後にプレーした所がバンカー外でなければ、バンカーの外にドロップすることはできません。

新規則

合計で2罰打を払えば、ホールを結ぶ線上でそのバンカー後の後方にドロップすることができます。バンカーが苦手なプレーヤーにとっては良い規則かも知れません。

オススメ
新ルール

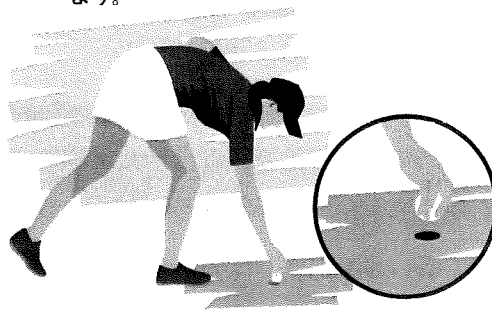
ドロップの方法が変わります。
高さに制限はありません。

現規則

ドロップの方法は、真っすぐに立ち、球を肩の高さに持ち、腕を伸ばしてドロップをしなければなりません。

新規則

球が空中をわずかでも通れば、ドロップの方法に制限はありません。とても低い位置からドロップすることで現規則にある再ドロップという追加の処置をしなければならない可能性を減らし、プレーのペースの支援にもなります。



オススメ
新ルール

球探しの時間は3分となります。

現規則

球を探し始めてから5分以内に自分の球を見つけることができなければ紛失球となります。

新規則

球を始めてから3分以内に自分の球を見つけることができなければ紛失球となります。この変更は球が紛失球となるリスクを高め、暫定球をプレーすることを促進し、プレーのペースを支援するでしょう。

※上記は改正予定のルールの一部です。詳しくはマスター室前に掲示されておりますのでご覧ください。

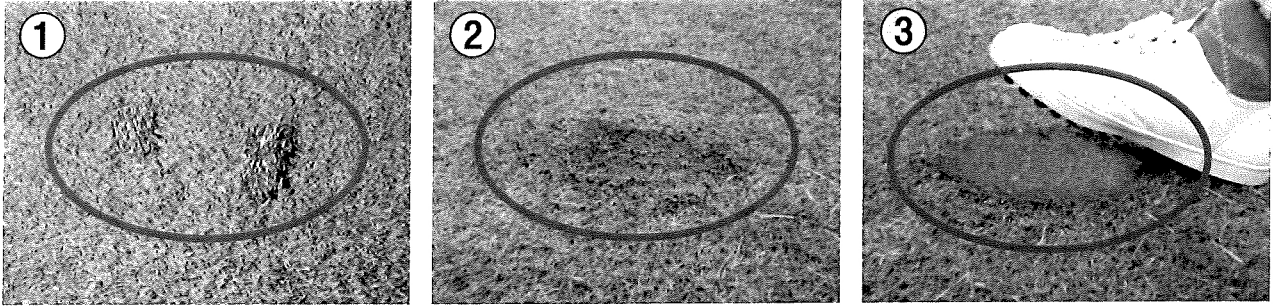
ロングパットは旗竿を抜かずにパットすれば時間短縮になります!!

今後も会員の皆様が誇れるコース作りを更に進めていきますので、是非ご協力をお願い致します。

コースはメンバーの庭です。自宅の庭と同じ愛情を注ぎましょう。

最も理想のディボット跡の目砂は、切り取られた成長点を埋め、表面が平らで、芝生にかぶっていない状態です。メンバー用に軽い目砂袋をカートに備えてあります。「第2打からはクラブと一緒に目砂袋を持つ」習慣となれば評判を呼ぶでしょう。

目砂を行う際は、



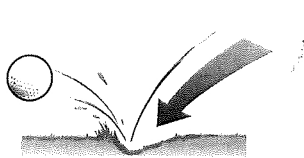
- ① 砂の埋めていない所が無いようにする。(自分のディボット跡以外も見ついたら目砂をしましょう)
- ② 砂の量は多めに、周りの芝生に被らないように。
- ③ 砂を入れたところはしっかり踏みつけ平らにする。

*ティグラウンドでは、スタンスにかかっても違和感が無くティショット出来るように。

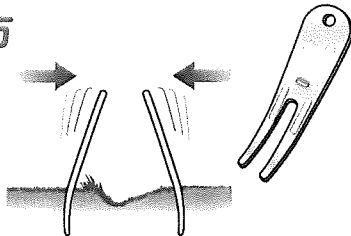
*フェアウェイでは、プレイヤーのボールが埋戻した跡に触れていてもフェアに打てるようにすることです。

◆「ボールマーク」は小さいものも直してください

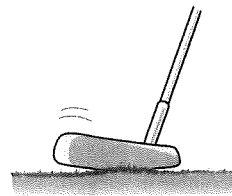
ボールマークの直し方



落下したボールの衝撃はグリーンに穴をあける。



グリーンフォークをボールマークの外周に刺し、芝を中央にそっと寄せる。



パターヘッドのソールで上から軽く叩いて均す。

アプローチ練習場のグリーンもボールマーク直しをお願いします。

◆「バンカー」の利用方法

- ① バンカー均しはプレイヤーの責務です。レイキで綺麗に均しましょう。
- ② バンカーには浅い所から入り、入った所から出ましょう。
- ③ レイキは右図の通り、「均す方をバンカー内に入れて置く」ようクラブで決められています。

